

令和4年度 第3回経営協議会 議事録

日 時：令和4年12月13日（火）14：00～15：30

出席者：稲永議長（理事長）、木村委員（学長）、百岳委員（専務理事）、宮脇委員（理事）、金子委員、庄野委員、渋沢委員、橋本委員（副学長）、岩重委員（副学長）、大曲委員（副学長）、小松委員（副学長）
光石監事、秋山監事

場 所：長崎県立大学佐世保校第1会議室・第2会議室

○配付資料

- 【資料 1】令和5年度長崎県公立大学法人予算編成方針（案）
- 【資料 2】令和4年度長崎県公立大学法人補正予算（案）
- 【資料 3-1】長崎県公立大学法人の中期目標〔第4期〕（素案）
- 【資料 3-2】長崎県公立大学法人の中期計画〔第4期〕（素案）【R4.12.13 時点】
- 【資料 3-3】長崎県公立大学法人第4期中期目標・中期計画(素案)【R4.12.13 時点】
- 【資料 3-4】第4期中期目標（R5.4.1～R11.3.31）素案のポイント
- 【資料 3-5】中期目標・中期計画〔第4期〕素案の概要【R4.12.13 時点】
- 【資料 4】長崎県公立大学法人の賃金改定について
- 【資料 5】令和4年度卒業予定者内定取得状況（11月30日現在）
- 【その他資料】次期学長の決定について

○議 事

【審議事項】

- (1) 令和5年度予算編成方針(案)について
- (2) 令和4年度長崎県公立大学法人補正予算（案）について

【報告事項】

- (1) 第4期中期目標・中期計画（素案）について
- (2) 長崎県公立大学法人の賃金改定について
- (3) 令和4年度卒業予定者内定取得状況について
- (4) その他

【審議事項(1)】 令和5年度予算編成方針(案)について

事務局より資料1に基づき説明を行い、案のとおり了承された。

なお、令和5年度予算については、了承された当方針を踏まえ編成作業を行い、

令和5年3月開催の経営協議会において予算案を審議する。

(主な質疑等)

委員) 国がさらに推進するよう求めているグローバル化・デジタル化に対応した教育や県内就職率の向上、新たに整備された情報セキュリティ産学共同研究センターにおける人材育成の推進などが骨子となっている。

委員) 運営費交付金の確保とあるが、県の財政は厳しい中で、県からの運営費交付金は減らされることはないのか。

委員) 県からの運営費交付金が減らされるといった情報はない。運営費交付金は交付税措置がされており、毎年度設定される分野別の学生一人あたりの単位費用に学生数を乗じて算出されるが、その単価は下がっている。

例えば、経営学部などが対象となる社会科学系学部では、20年前は約35万円であったのが、今年度は約21万円に減少している。

委員) 国立大学でも単価が減少していたが、現在は下げ止まりの状況である。国は競争的外部資金の獲得を推奨している。

委員) 交付税が下がるのであれば、県は国と同じように競争的外部資金の獲得に力を入れるよう求めてくるのか。

委員) 話はあるが、強い要請はない。

委員) 競争的外部資金には国立大学のみが応募できるもの、国立・公立どちらも応募できるものがあり、公立大学が応募できるものは国立大学に比べて多くはないが、積極的に応募し、外部資金を獲得する必要がある。

【審議事項(2)】 令和4年度長崎県公立大学法人補正予算(案)について

事務局より資料2に基づき説明を行い、案のとおり承認された。

(主な質疑等)

委員) 内容は理解したが、要するに計上を失念していたミスである。説明資料には失念していたと明確に記載すべきである。その方が理解を得やすいと思う。
事務局) わかりました。

【報告事項(1)】 第4期中期目標・中期計画(素案)について

事務局より資料3-1～3-5に基づき報告を行った。

(主な質疑等)

委員) 県内就職については重要であるが、あまりやり過ぎると憲法違反になるし、学生が就職課に寄り付かなる恐れがあるとの声もある。学生に県内企業の情

報を提供する際は慎重を期す必要があると思う。

また、先般、地元の企業の企業説明会が学内であったが、残念ながら出席者がごくわずかであった。企業の方に来ていただいているので、参加学生を増やすよう宣伝などの方法を考えないといけない。就職課で何か方策は考えているか。

事務局) 就職支援活動を充実させるために、学内における就職ガイダンスやイベント等の企画・広報・実施に携わる学生を募集することを考えている。

【報告事項(2)】長崎県公立大学法人の賃金改定について

事務局より資料 4 に基づき報告を行った。

【報告事項(3)】令和 4 年度卒業予定者内定取得状況について

事務局より資料 5 に基づき報告を行った。

【報告事項(4)】その他

議長より次期学長の決定について報告を行った。

以 上